

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
コミュニティバス運行事業	企画情報課 [総務]	40,607人	43,000人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
事業者路線バスの廃止代替路線として3路線、交通空白地域への対策として5路線を運行している。									
平成24年度実績									
利用者 38,971人								決算額	
								25,231千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
各路線とも利用者数は減少傾向か横ばいという状況であることから、利用者数の増加と収支率の向上を図るための方策はもちろんのこと、利用者の方々に、今後も継続して利用していただけるような取り組みが必要である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
各地区でコミュニティバスの運行を継続し、津島地区では7月1日から新規路線(野井・五郎丸線)の運行を開始する。								26,372千円	
利用者ニーズに即した運行形態の導入と運行体制の整備により、地域に愛される交通網の構築と交通空白・不便地域の解消を目指し、地域住民の生活交通を確保していく。									
また今年度は「ふるさとわじま応援事業」によるバス車両のラッピング装飾を実施することになっており、当市のコミュニティバス事業を広く市民の方々にアピールすることで、新規利用者の開拓と利用者数の増加を図っていく。								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
生活交通バス路線維持・確保事業	企画情報課 [総務]			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する路線バス運行に要する経費の一部を補助するもの。								
平成24年度実績								
国庫補助路線 21,629千円 9系統 県単補助路線 49,162千円 7系統 市町単独路線 7,093千円 11系統							決算額	
							77,884千円	
							実績値	
							—	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
利用者の減少→路線廃止、減便等縮小→さらなる利用者の減少、といった悪循環に陥っており、路線再編、経費削減等、事業者の経営努力による対応は、既に限界にきている。路線バスの交通網は辛うじて維持されているものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成25年度予定								
継続して実施。							予算額	
							78,000千円	
							目標値	
							—	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
離島航路維持・確保事業	企画情報課 [総務]			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
離島住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する離島航路運航に要する経費の一部を補助するもの。									
平成24年度実績									
九島航路 50,690千円 日振航路 61,158千円								決算額	
								111,848千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
—									
事業に対する評価・課題等									
離島航路においては、離島人口の減少を主な原因とする収入減により、欠損額は増加する一方であり、経費削減等、事業者の経営努力による対応も、既に限界にきている。航路はかろうじて維持されているものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
継続して実施。								予算額	
								116,672千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規	
在宅福祉事業(宇和島市緊急通報装置貸与事業)	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
独居高齢者および重度身体障害者等に対し緊急通報装置を貸与することにより、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。									
平成24年度実績									
利用者数：281人(3月末利用者) 総事業費：2,304,415円								決算額	
								2,304千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行っていきたい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
利用者数：300人 総事業費：2,689,000円(委託料2,200千円、設置手数料489千円)								予算額	
								2,689千円	
								目標値	
								-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
意志疎通支援事業(コミュニケーション支援事業)	福祉課	事業利用者数 404人	400人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害者等の意思疎通の円滑化を目的に、手話通訳等の方法により障害者等とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者等の派遣等を実施する。									
平成24年度実績									
手話通訳者派遣数 403回 ・ 要約筆記奉仕員派遣数 28回									決算額
									1,526千円
									実績値
									431回
									進捗状況
									3
事業に対する評価・課題等									
事業開始後、過去最多の申請数となった一方で、新規登録の通訳者がおらず、通訳者の養成が今後の課題。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									3
平成25年度予定									
前年度より若干上回る依頼数を見込んだ数字を計上。									予算額
									1,552千円
									目標値
									450回

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
移動支援事業	福祉課	事業利用者数 30人	83人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
屋外で移動に著しい制限のある視覚障害者、全身性障害者、知的障害者、精神障害者及び障害児に対して、外出のための支援を行うことにより当該障害者等の移動に関する福祉の向上に寄与する。									
平成24年度実績									
実利用者数:14人								決算額	
								1,931千円	
								実績値	
								14人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
必要な支援を実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
前年度と同様								予算額	
								1,900千円	
								目標値	
								14人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
地域活動支援センター	福祉課	事業利用者数 (月別)150人	200人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
障害者(児)及びその家族等に対して地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することにより、障害者等の地域生活支援の促進に寄与する。									
平成24年度実績									
地域活動支援センターたちばな作業所他3箇所・・・延利用人数 8,674名 月別 180人								決算額	
								41,291千円	
								実績値	
								180人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
必要な支援を実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
前年度と同様								予算額	
								41,392千円	
								目標値	
								200人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
日常生活用具給付等事業	福祉課	事業利用者数 559人	520人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
在宅の重度障害者(児)に対し、日常生活用具を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜を図り、もって障害者の福祉の増進に寄与する。									
平成24年度実績									
給付件数 2,175件 事業利用者実人数 571人								決算額	
								23,147千円	
								実績値	
								571人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
障害者の日常生活に必要な支援を実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
平成24年度と同様に実施する								予算額	
								23,900千円	
								目標値	
								570人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
相談支援事業	福祉課	6,865人		①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
障害者等が自立した社会生活を営むことができるよう、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を実施する。									
平成24年度実績									
地域活動支援センター柿の木 : 実人数 175人 ・ 延人数 2,295人 相談支援センター豊正園 : 実人数 165人 ・ 延人数 2,355人 南愛媛療育センター : 実人数 224人 ・ 延人数 675人 地域活動支援センターグリーン工房 : 実人数 50人 ・ 延人数 478人								決算額	
								26,593千円	
								実績値	
								5,803人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
障害者本人や家族、関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、障害福祉サービスの利用等必要な支援を実施している。 実績値が減少しているのは、今年度から計画相談支援を実施するようになり、障害福祉サービス利用者に対する相談は、計画相談支援に計上されるためと思われる。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
平成24年と同様に実施する。								予算額	
								24,950千円	
								目標値	
								6,000人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
自立支援給付事業	福祉課	3,392件		①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
障害のため、医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、自立と日常生活の安定に寄与する									
平成24年度実績									
自立支援医療費(更生医療) 対象レセプト 3,472件								決算額	
								168,090千円	
								実績値	
								3,472件	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
必要な医療助成を実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
前年度と同様								予算額	
								165,000千円	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H23)	目標値(H24)				
重度心身障害者医療事業	福祉課	2,371人		①充実		②継続	③新規
事業の概要							
重度心身障害者のため医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、医療費の無料化を実施し、重度心身障害者の生活の安定と福祉の増進に寄与する。							
平成24年度実績							
対象人員：2,380人 助成件数：61,600件 助成金額：380,091,212千円 施行事務費：4,753千円						決算額	
						380,091千円	
						実績値	
						2,380人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
必要な医療助成を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成25年度予定							
前年度と同様に実施予定						予算額	
						376,000千円	
						目標値	
						2,380人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H23)	目標値(H24)				
特別障害者(児)福祉手当事業	福祉課	1,608人		①充実		②継続	③新規
事業の概要							
在宅重度障害者の福祉の増進を図るため、精神又は身体に重度の障害を有する在宅障害者の方に対し、その重度の障害によって生ずる特別な負担の一助として手当を支給する。							
平成24年度実績							
対象延べ人数：1,579人						決算額	
						35,733千円	
						実績値	
						1,579人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
着実に事務を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成25年度予定							
前年度と同様に実施予定。						予算額	
						36,800千円	
						目標値	
						1,600人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
特別児童扶養手当事務事業	福祉課	150人		①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
精神又は身体に障害のある児童を家庭において看護している者に対して、国が特別児童扶養手当を支給し、その児童の福祉の増進を図るため、事務取扱を実施する。									
平成24年度実績									
受給者数:157名								決算額	
								238千円	
								実績値	
								157人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
着実に事務を実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
前年度と同様に実施予定								予算額	
								228千円	
								目標値	
								160人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[3] 教育・育成の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
特別支援教育推進事業	教育総務課	100%		①充実		②継続		③新規	
事業の概要									
関係機関との連携のもと、障害児保育、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努めます。									
平成24年度実績									
○関係機関との連携をとり、個別の特別支援教育の取組や就学相談を受けながら、一貫した教育・育成に努めた。 ○特別支援教育研修会・講演会・関係諸機関等との連携を図りながら、育成に努めてきた。 ○特別支援教育連携協議会や研修会に積極的に参加し、障害児教育の理解に努める。また、小学校や関係機関との連携を図り、就学に向けた教育相談を実施した。 ○特別支援に関する研修会への参加や、園内研修の充実。 ○高齢者や障害をもっている方々との交流する機会をもつように努めた。 ○24年度は、配慮児がいなかったため、特に関係機関との連携はとらなかった。特別支援学級に就学した1年生の担任・保護者との情報交換や職員の研修を行った。 ○幼・小関連も含め、関係機関との連携も行った。 ○幼児一人一人の実態を把握し、幼児の成長・発達を促すために研修・実践を行い、教育の充実を図る。								決算額	
								—	
								実績値	
								100%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
○個別の特別支援教育の就学相談などの保護者の理解と協力を得て、どのように推進していくか。 ○個別の支援教育の推進について、保護者との連携や啓発の在り方を工夫する。 ○保護者や小学校、関係機関との連携を図ることによって研修が深まり、個別の支援教育の充実を図ることができた。 ○幼児一人一人の課題を明確にし、全教師が同じ意識をもって個に応じた保育をおこなうことができた。 ○高齢者の方との交流は少しではあるが実施することができた。 ○特別支援教育への理解を深めるように努めた。卒園後も、特別支援学級に就学した幼児の保護者との信頼関係をもち続けることができていることをうれしく思う。 ○充実した幼・小関連教育ができた。保護者との連携や啓発に工夫したい。 ○特別支援コーディネーターを中心に配慮を要する幼児についての共通理解を図り、指導にあたることで成果が感じられた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
○特別支援教育研修会・講演会等への参加 ○職員の研修会への参加や保護者との連携を充実させる。 ○保護者に対して、特別支援教育について啓発を続けていく必要がある。 ○高齢者や障害を持っていつ方々との交流 ○あけぼの園、保健師さんとの情報交換に努め、配慮児にとって居心地のいい園作りを行う。また、特別支援教育研修会への参加や、小学校との情報交換も引き続き行う。 ○あけぼの園・愛媛南病院旭川荘との連携 ○園内研修・個別の指導計画の作成								予算額	
								—	
								目標値	
								100%	

かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[3] 教育・育成の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
特別支援教育推進事業	学校教育課	88%		①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
関係機関との連携の下、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。 高齢者や障害者についての理解を深める。 相手の立場と人格を尊重する態度を育成する。								
平成24年度実績								
総合的な学習の時間における「福祉」教育の充実。 職場体験学習における介護体験。 特別支援学級における交流学習の充実・理解を深めた。 老人ホームへの訪問を、教育課程を通じて位置付けし、実施した。 特別支援教育校内委員会の充実、進路相談の充実。								決算額
								実績値
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
専門機関との連携を取り、指導を受けながら個々のニーズにあった支援を行った。 支援委員会を計画的に実施し、全教職員で共通理解を図りながら指導に当たった。 高齢者養護施設との交流によって、子どもが障害者やお年寄りと接する態度や心が育った。 特別支援学級に在籍する児童生徒への理解が深まっている。 保護者や家族の願いを把握する取り組みは重要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成25年度予定								
各専門機関との連携。 校内支援委員会のさらなる充実。 特に配慮が必要な児童生徒に対し、個別の指導計画を作成、実行し、全職員で共通理解を図りながら指導していく。 老人ホームとの交流に工夫を加えていく。 特別支援教育コーディネーターを中心として、一人一人のニーズに応じた支援を外部の諸機関と連携しながら推進する。 総合的な学習の時間において、テーマを「共生」とし、福祉問題を取り上げ、各種講座を開設し、								予算額
								目標値

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[4] 消費者対策の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
消費者教育事業(消費者講座)	企画情報課 [商工観光課]	292人	1,500人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
消費者支援講座の開催。									
平成24年度実績									
平成24年度消費者支援講座 ○平成24年7月5日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:祝森老人クラブ 21名 ○平成24年10月18日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:野川地区高齢者教室 40名 ○平成24年10月25日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:下波老人クラブ・下波在住者 12名 ○平成24年11月30日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:高齢者(吉田町 若草クラブ) 10名 ○平成24年12月19日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:御槇老人クラブ(御槇高齢者学級) 27名 ○平成25年1月25日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:明倫地区独居老人 97名 ○平成24年2月14日 内容・テーマ「消費者被害にあわないために」 参加者:津島高等学校生徒 91名 ○平成25年2月22日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:喜佐方地区高齢者 25名								決算額	
								-	
								実績値	
								323人	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
社会に出て行く高校生に、自分自身で身を守る知識や判断能力を身に付けることを目的した講座を行った。今後においても、消費に関する正しい情報や知識を啓発することが大切と考える。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
公民館職員研修会や民生児童委員等の会議で、消費生活出前講座及び悪徳商法等についてのパンフレットを配布し、啓発活動を行う。								予算額	
								-	
								目標値	
								350人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[4] 消費者対策の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
消費者啓発事業(消費啓発講座)	企画情報課 [商工観光課]	150人	200人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
消費啓発講座の開催。									
平成24年度実績									
【消費者啓発パネル展】 日時:平成24年7月1日(日) 場所:南予文化会館ロビー 内容消費者啓発パネル展、啓発グッズ配布 日時:平成24年10月1日(月)～平成24年10月5日(金) 場所:市役所1階ロビー 内容:消費者啓発パネル展、啓発グッズ配布									決算額
									-
									実績値
									-
									進捗状況
									4
事業に対する評価・課題等									
・困った時の相談窓口「宇和島市消費生活センター」を市民に広く周知できた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5
平成25年度予定									
【消費者啓発パネル展】 日時:平成25年5月20日(月)～平成25年5月24日(金) 場所:市役所1階ロビー 内容:消費者啓発パネル展、啓発グッズ配布 日時:平成25年6月2日(日) 場所:南予文化会館 内容:消費者啓発パネル展、啓発グッズ配布									予算額
									-
									目標値
									-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[5] 高齢者の生きがいがいづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)			①充実	②継続	●	③新規
老人クラブ育成事業	高齢者福祉課			①充実			②継続	●	③新規
事業の概要									
高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため、老人クラブ活動への補助金を交付している。									
平成24年度実績									
年間活動延月数：1,428ヶ月（119クラブ） ○社会奉仕活動事業（地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等） ○老人教養講座開催事業（介護講座、健康講座、防災講座等） ○健康増進事業（健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等）								決算額	
								1,428千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
高齢者の生きがいや健康づくりの推進が図られた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									
平成25年度予定									
年間活動延月数：1,428ヶ月 ○社会奉仕活動事業（地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等） ○老人教養講座開催事業（介護講座、健康講座、防災講座等） ○健康増進事業（健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等）								予算額	
								1,856千円	
								目標値	
								-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[5] 高齢者の生きがいがいづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
熟年就農講座 (新規就農支援講座)	農林課			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
高齢者や新規就農者等の自発的な農業への取り組みを支援する									
平成24年度実績									
開催回数:12回 延べ参加者数:137人 主な講習内容:野菜等の栽培管理、農業機械の実技講習など								決算額	
								59千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
女性が積極的に農作業に取り組み、農業を理解しようと毎年多くの女性が参加している。講義内容がマンネリ化しないよう参加者の意見を取り入れながら行っていきたい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
若い女性の受講者が増加したため、就農講座の充実とともに若手女性就農者の育成に努めたい。								予算額	
								65千円	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[5] 高齢者の生きがいがいづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
高齢者学級(地区公民館)	生涯学習課	19館	30館	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
高齢者が地域の活動に積極的に参加し、生き生きと暮らしていけるよう、各地区公民館において高齢者が気軽に参加できる学級・講座を実施するもの。									
平成24年度実績									
【高齢者学級】 実施公民館数:21館 実施回数:48回 高齢者参加数:1603人(うち、男702人 女841人)								決算額	
								96千円	
								実績値	
								21館	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
各種学級・講座は、男女の別や年齢に関わらずできるだけ多くの人が学べるように、土日や日中、夜間等に分散しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるように工夫している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
【高齢者学級】(予定) 実施公民館数:24館 実施回数:58回 延べ時間数:143時間								予算額	
								135千円	
								目標値	
								24館	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[6] 高齢者や障害者にやさしいまちづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
障害者用トイレ設置事業(中央・地区公民館)	生涯学習課	—	15館	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
公民館33館(中央公民館、分館2館含む)のうち、障害者用トイレ設置館は13館で、将来的に全館設置を目指しているものの、多額の財源を必要とするため、長期的な計画として平成24年度までに2館増を目標とするもの。									
平成24年度実績									
障害者用トイレ設置のための現地調査を実施したが、多額の財源を必要とするため事業を実施する事ができなかった。								決算額	
								0千円	
								実績値	
								—	
								進捗状況	
								1	
事業に対する評価・課題等									
障害者用トイレ設置済みの公民館からは、暖房便座、ウォシュレット等の設置要望があり、今後未設置の公民館の設置と併せて協議していく必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
障害者用トイレ設置のための現地調査を継続する。 設置予定公民館2館の決定。工事用の積算。								予算額	
								0千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[1] 介護予防事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
介護予防事業に係る二次予防事業	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(二次予防事業対象者)を、基本チェックリストで把握する。 把握した二次予防事業対象者に、通所型介護予防事業や訪問型介護予防事業を実施する。 事業の利用等により、要介護状態等となることを防ぎ、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援する。								
平成24年度実績								
○基本チェックリスト実施者……3,999人 ○二次予防事業対象者……722人 ○通所型介護予防事業利用者 ・運動器の機能向上プログラム参加者……実人員134人 ・栄養改善プログラム参加者……実人員4人 ・口腔機能の向上プログラム参加者……実人員20人 ○訪問型介護予防事業利用者……実人員0人							決算額	
							11,900千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
○健診機関など各関係機関との連携により、広く基本チェックリストの実施が図れてきている。 ○広報、リーフレット配布等により啓発活動を行い、広く周知されてきた。 ○二次予防事業利用者に、運動器の機能向上プログラム等を実施し効果があらわれている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成25年度予定								
○二次予防事業対象者……見込み700人 ○通所型介護予防事業利用者……最大利用見込み実人員147人 宇和島会場1セット24回:計6セット、三間・吉田・津島会場1セット13回:計各会場2セット ○訪問型介護予防事業利用者……実人員1人							予算額	
							13,385千円	
							目標値	
							—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[1] 介護予防事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
介護予防事業に係る一次予防事業	高齢者福祉課							
事業の概要								
地域において介護予防に資する自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が主体的に実施されることを図る。 健康教育や健康相談等を通じて、介護予防を普及啓発したり、地域における活動の育成や支援を行う。								
平成24年度実績								
◎介護予防普及啓発事業 ○各種講座……358回・7,274人(うち介護予防講座……40回・582人) ○相 談 会……4回・49人、健康相談(保険健康課)……230回・1,739人 ○「シニア元気づくりお役立ちガイド及び情報」発行……35,700部配布 ○認知症フォーラム 1回・101人 ◎地域介護予防活動支援事業 ○ボランティア講座等……39回・416人、ボランティアスキルアップ研修……1回・22人 ○シニア元気づくりサポーター育成事業……12回・189人 ○高齢者元気づくり推進事業……2,608件 ○ミニサークル支援活動……20回・262人 ○ふれあいいきいきサロン……52回・823人 ○自主グループ支援……7回・86人								決算額
								9,317千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
○介護予防普及啓発事業 ・広報、パンフレット配布、保険健康課や公民館事業と連携した普及・啓発が図れた。 ・シニア元気づくり体操普及事業・通所型介護予防事後事業を実施し、介護予防活動が市民に浸透してきている。 ○地域介護予防活動支援事業 ・シニア元気づくりサポーター育成事業や介護予防ボランティア養成講座の実施により、介護予防活動への参加・ボランティア養成の基盤整備が図れた。 ・高齢者元気づくり推進事業等により、高齢者が身近に集う場としての高齢者サロンの拡充や介護予防の普及啓発が図れてきている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成25年度予定								
○シニア元気づくり体操普及事業(シニアoh!げんき体操クラブ)……5会場各毎月1回 計60回(実人数160人) ○通所型介護予防事後事業……12回(実人数15人) ○高齢者元気づくり推進事業……高齢者サロンの拡充(173か所→180か所) ○シニア元気づくりサポーター育成事業……12回(実人数12人) ○介護予防講座……33回 ○健康相談(保険健康課)……220回、健康教育……230回 ○ボランティア講座等……25回 ○ボランティアスキルアップ研修会参加……1回 ○地域活動組織への講師派遣……70回 ○「シニア元気づくりお役立ちガイド」発行……35,700部配布								予算額
								9,921千円
								目標値
								—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[2] 地域包括支援センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
介護予防ケアマネジメント事業	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(二次予防事業対象者)を、要介護状態となることを予防する為、心身や環境等の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等その他の適切な事業が包括的かつ効率的に実施されるよう必要な援助を行うことを目的としてケアマネジメントを行う。									
平成24年度実績									
介護予防ケアプラン作成数:134件 介護予防ケアプランの評価数:131件								決算額	
								195千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
○個別性を重視し自立支援を目指した適切な介護予防ケアプランの作成や、計画を定期的に評価し見直しを行うことで、改善に向けた支援ができた。 ○二次予防事業の通所型介護予防事業や訪問型介護予防事業と連携して実施する事ができた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
介護予防ケアプラン作成見込数:140件								予算額	
								321千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[2] 地域包括支援センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
高齢者が安心して生活を続けていくために、介護保険サービスだけでなく関係機関のネットワークを活かしながら、総合相談支援を通じて、制度の垣根を越えた横断的・多面的な援助を目指す。 高齢者が認知症や要介護状態になっても、生命や財産が守られ、日常生活に支障をきたすことなく安心して暮らすことができるよう、個人の尊厳を保持するための権利擁護事業の効果的な活用を促進する。								
平成24年度実績								
◎総合相談事業 ○総合相談延べ件数……4,672件 ◎権利擁護事業 ○高齢者虐待通報件数……26件(内、虐待と認定した件数……15件) ○成年後見制度に係る相談件数延べ件数……241件(実人数50人、申立て件数4件)							決算額	
							5,564千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
○個別訪問により実態把握を行うことで、支援を必要とする高齢者を発見し、適切な支援や継続的な見守りを行い、問題の予防的対応を図っていくことができた。 ○協力事業所や見守り推進員と連携して、地域全体で見守りや訪問等を行い、日常的な安否を確認するとともに、異常等を発見した時に迅速に対応できるよう努めた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成25年度予定								
◎総合相談事業 ○初期相談から、継続的・専門的な援助まで対応する総合的な相談支援 ○高齢者の実態把握のための個別訪問 ○高齢者地域見守りネットワークの運営 ◎権利擁護事業 ○高齢者虐待防止への取組 ○成年後見制度の活用 ○消費者被害の防止							予算額	
							5,859千円	
							目標値	
							—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[2] 地域包括支援センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
成年後見人制度支援事業	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
①高齢者などからの権利擁護に関わる相談などに対応する。 ②成年後見人制度の利用が必要と思われる人について、その家族などに成年後見人制度の必要性や手続き等を説明し、申し立てにつなげる。 ③成年後見人制度が必要であるにも関わらず身寄りがいないような人について、市長申し立てにつなげる事等の権利擁護に係る事業を行う。								
平成24年度実績								
○相談延べ件数……241件 ○申し立て支援……50件 ○申し立て件数……4件(うち市長申し立て件数 0件)							決算額	
							132千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
成年後見人制度の利用に関する説明や助言を行い、申し立てにともなう支援を行った。又、成年後見人制度を広く普及させるための広報の利用、並びに地域の医療機関、権利擁護に関わる団体等との連携を図った。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
○成年後見人制度利用支援事業見込人数……2名 ○市長申し立て見込件数……3件 ○制度普及のための研修会開催……2回 ○相談・制度説明・手続支援							予算額	
							739千円	
							目標値	
							—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[2] 地域包括支援センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規	
包括的・継続的ケアマネジメント事業	高齢者福祉課								
事業の概要									
地域包括ケア体制ネットワークの構築 介護支援専門員の情報交換促進 介護支援専門員に対する日常的指導・相談 支援困難事例への指導									
平成24年度実績									
地域ケアネットワーク会議を構成する部会を定期的に開催することで、地域ケアネットワーク会議の強化を図った。 ◎地域ケアネットワーク会議……3回 ・介護支援専門員部会……5回 ・介護サービス事業所部会……6回 ・認知症対策部会……6回 ・地域見守り部会……2回 ・権利擁護部会……2回 ・介護予防部会……7回 ・主任介護支援専門員会議……3回 ・ケアマネ支援…432件/年、 サービス担当者会議への参加…20回/年、 合計452件								決算額	
								563千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
市内39か所の居宅介護支援事業所の介護支援専門員106名からの相談は、年々支援困難事例が増加しているため、部会を定期的に開催し関係機関との繋がりを強化することで、個別の事例に対応できるネットワーク構築に力を入れている。今後は、独居高齢者の見守り、虐待、認知症等多様化する問題に対応できる様、地域ケアネットワーク会議及び部会の充実を図り、運営協議会との繋がりを強めていく必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
◎介護支援専門員に対する個別支援 ①支援困難事例を抱える介護支援専門員への支援(窓口相談・同行訪問) ②サービス担当者会議の開催支援 ③ケアマネジメントの質の向上のための研修会開催 ◎包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築 ①「地域ケアネットワーク会議」を中心とした関係機関の連携体制づくり								予算額	
								952千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[3] 認知症高齢者への支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	●	
介護予防一般高齢者施策事業 総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規	●
事業の概要									
「認知症になっても安心して暮らせる街・宇和島」を目指し、認知症高齢者を取り巻く問題の支援体制システムを構築する。 一次予防事業の中で認知症の予防を図り、総合相談・権利擁護事業で認知症の方の相談を行い、認知症の方がより安心して生活できるよう支援する。									
平成24年度実績									
宇和島市独自で認知症高齢者への対策に取り組む。(包括的支援事業の一環としての取組) ○地域ケアネットワーク会議・認知症対策部会……適宜部会を開催し、宇和島市として取り組む認知症対策について、検討する。 年9回開催。 ○徘徊SOSネットワークの構築事業……徘徊SOSネットワーク構築の為の協力者を確保するとともに、情報伝達のしくみを宇和島市全体で取り組む。 認知症フォーラム1回開催(101名参加)、だんだんネット協力事業所34事業所追加。により、24年度末時点で協力事業所総数358事業所。 ○認知症学習会 ・認知症シンポジウム 215名参加 ・認知症講座(サポーター養成講座) 年38回・1,159人 ・キャラバンメイトフォローアップ研修……キャラバン・メイト連絡会の結成 年1回・33名参加,メイト登録者64名 ・認知症家族のつどいへの協力 年12回、 ・認知症相談室……医師相談 年6回・12件								決算額	
								390千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
○認知症に係る事例検証など、学習会及び研修会を通じて関係者を通じて、認知症が病気であることの理解者や支援できる認知症サポーターの養成が推進できた。 ○徘徊SOSネットワークの構築については、系統的な情報伝達のしくみについて、整備に一層の努力が必要と思われる。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
引き続き宇和島市独自で認知症高齢者への対策に取り組む。(包括的支援事業の一環としての取組) ○地域ケアネットワーク会議・認知症対策部会……適宜部会を開催し、認知症対策について、検討する。 ○徘徊SOSネットワークの構築事業……徘徊SOSネットワーク構築の為の協力者を確保し、情報伝達ルートの確立。 ○認知症医療・ケア研修会 ・認知症医療との連携……認知症情報提供書の活用推進及び内容改善 ○認知症学習会 ・認知症講演会の実施 年1回 ・認知症講座(サポーター養成講座) 年35回 ・キャラバンメイトフォローアップ研修……キャラバン・メイト連絡会の開催 年2回 ・認知症家族のつどいへの協力 ・認知症相談室……医師相談 年6回								予算額	
								474千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—